

原料費調整制度に基づく2026年5月検針分のガス料金について

1. 2026年5月 検針分の料金表

- (1) ガス小売供給約款契約料金表（秋田支社地区）
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

	(税込)			
	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量(m ³)	0~7	7~24	24~490	490~
基本料金(円/月)	1,210.00	1397.00	1,992.10	5,570.40
調整単位料金(円/m ³)	243.13	216.41	191.58	184.28
【参考】前月調整単位料金(円/m ³)	(236.76)	(210.04)	(185.21)	(177.91)

- (2) 標準家庭における影響

	(税込)		
1か月のご使用量 [※]	2026年5月ガス料金	2026年4月ガス料金	差額
19m ³ (46.04655MJ)	5,508円	5,387円	121円

※1か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭1件当たり使用量の平均値です。

■標準家庭料金の計算方法

$$\text{2026年5月ガス料金(円:税込)} = \text{基本料金(円)} + \text{単位料金(円/m}^3\text{)} \times \text{ご使用量(m}^3\text{)}$$

$$5,508 = 1397.00 + 216.41 \times 19$$

$$\text{単位料金(円/m}^3\text{)} = \text{基準単位料金(円/m}^3\text{)} + \text{単位料金調整額(円/m}^3\text{)}$$

$$216.41 = 218.72 + \blacktriangle 2.31$$

2. 原料価格の変動

- (1) 原料価格の実績

算定期間		(円/t)	
		2025年12月から2026年2月	
平均原料価格	LPG	83,320	
	LNG	86,240	
		80,920	(a)
基準平均原料価格		83,460	(b)
差額 (a-b)			▲ 2,540

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

- (2) 単位料金調整額の算定方法

■平均原料価格の算定

$$\text{平均LPG価格(貿易統計値)} = 83,320\text{円/t} \times 0.0394$$

$$\text{平均LNG価格(貿易統計値)} = 86,240\text{円/t} \times 0.9003$$

$$\text{平均原料価格} = 80,920\text{円/t} \quad (10\text{円未満四捨五入})$$

■原料価格変動額の算定

$$80,920\text{円/t} - 83,460\text{円/t} = \blacktriangle 2,500\text{円/t} \quad (100\text{円未満切り捨て})$$

■単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = \blacktriangle 2,500\text{円/t} \div 100\text{円/t} \times 0.084\text{円} \times 1.10$$

$$= \blacktriangle 2.31\text{円} \quad (\text{小数点第3位以下切り上げ})$$

【参考】原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(83,460円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m³当たり0.084円(税抜)の単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。